

日本産畜産物の輸出を促進 食品即売会出展、統一マーク活用

日本産畜産物の輸出を促進する日本畜産物輸出促進協議会は、24日に開幕した食品即売会「香港フードフェスティバル」に出展した。牛肉はこれまで海外で積極的に宣伝してきたが、「日本産」と銘打って豚肉や鶏卵など牛肉以外の畜産物を海外の展示会に出品するのは今回が初めて。協議会は、日本産を示す統一マークの浸透を図ることで、牛肉を含む畜産物の認知度向上と輸出増を狙う。



焼き肉やしゃぶしゃぶ、温玉サラダなど調理方法をデモンストレーション＝24日、HKCEC (NNA撮影)

日本畜産物輸出促進協議会は昨年12月に設立された。畜産物の輸出促進では、牛肉が全国的な組織を持っていたが、豚肉や鶏肉、鶏卵、牛乳・乳製品でも組織を立ち上げる気運が広まり、まとまる形で同協議会の設立に至った。今回は既に輸出実績があったことや多くの来場者が見込めることから、香港でのイベント出展を決めた。

日本畜産物輸出促進協議会の菱沼毅理事長によると、牛肉以外の畜産物は、これまでメーカーなどによる個々の海外出展はあったが、「日本産」として参加するのは今回が初めて。牛肉を含む日本産畜産物の認知度を高めるのが狙いだ。

(次ページへ続く)

NEWS HEADLINES

【農水】 日本産畜産物の輸出を促進
【食品】 韓国から輸入の牛肉提供へ、外食の富臨
【商業】 宝飾業界が金推奨価格を停止、競争条例で
【商業】 クリスマス商戦、サンフンカイ系モールは好調
【商業】 《進出》銀座ウエスト、香港に海外1号店
【商業】 メトロブックス、5年で10出店へ＝児童書強化
【金融】 続伸、エネルギー株買われる＝香港株式
【建設】 華人置業、ウィンザーハウスを売却へ
【建設】 ミッドレベル天匯の成約でアジア最高額
【建設】 外資系飲食店、香港進出狙い賃料下落待ち
【運輸】 深センの福田駅が開業、広州まで42分に短縮
【政治】 習主席、一国二制度の「新状況」懸念
【観光】 マカオ観光局、来年PRに7700万パタカ
【労働】 マカオ中小企業、来年3～5%賃上げ見通し
【社会】 「トラム」啓徳にも移動式遊園地オープン
【社会】 旅客機内の窃盗増加、前年比4割増
【経済】 ニュースPICK UP
【運輸】 内外トランス、前海子会社が営業開始へ
【金融】 東京海上HD、深セン生命保険会社の株式売却
【社会】 東莞市で鳥インフル、1人死亡
【社会】 政府、捜査本格化＝深セン土砂崩れから1週間

その他の中国ニュース

1 【経済】 中国主導のA I I Bが発足、年1.8兆円融資へ 10
3 【経済】 日系の事業拡大意欲が低下、ジェトロ調査 10
3 【製造】 パナ、中国に車載電池工場＝エコカー需要狙う 11
4 【食品】 ヤクルト、上海などで低カロリー乳酸菌飲料発売 11
4 【金融】 ジンバブエ、人民元を法定通貨として本格流通へ 11
4 【製造】 世界最速エレベーター公開、三菱電機＝上海で 11
5 【車両】 E V電池の国家基準適合企業、7社を追加 12
5 【IT】 アリババ、出前サイトの「餓了麼」に出資か 12
5 【経済】 上海の5カ年計画、国際都市化を加速 12

特集

6 【オフショア人民元の今】第12回 14
6 【ビジネス講座】 保税開発区活用越境ECの食品管理草案 15
7 【日系企業がゆく】 日本商品の卸売りで急成長 16

マーケット情報、その他

7 商品市況 18
8 クロスレート 18
9 マーケット情報 為替と株式 19
9 各地のコラム 20

現在、香港とシンガポール、台湾のみへの輸出が可能
な鶏卵は今回が初の海外出展となった。日本養鶏農業協
同組合連合会の杉原健一代理事副会長は、「日本の卵
は生で食べられるほど新鮮で安全。ただ食文化の違いも
あることから、今回は温泉卵を使ったレシピを紹介し
た」と説明。ブースにはハンバーグに温泉卵を添え、ソ
ース感覚で味わうレシピと、温泉卵にたれをかけてス
ープとして楽しむレシピの 2 通りを試食として披露した。

香港への鶏卵輸出は現在、年約 1,500 トンで、20 年ま
でに 1 万～1 万 5,000 トンまで引き上げる目標だ。杉原
代表理事副会長は、「ハードルは高い」としたものの、
米国で鳥インフルエンザの感染が拡大したことなども
あり、日本が香港の鶏卵市場でシェアを広げる余地が
あるのではとの期待感を示した。

脂身のおいしさを

国産豚のブースも初の海外展示となった。香港への豚
肉輸出量は現在約 400 トンで、20 年までに 1,000 トンへ
と拡大する目標を掲げる。

日本養豚協会の海老原達之技師は「輸出量はまだ少な
い方だが、香港人の豚肉消費量は多く、有望な市場」と
評価。日本産の豚肉は飼料の管理が徹底しているため
に、脂身が甘く、マイルドな香りがあるのが特長という。

ただ香港では脂身を削ぎ、赤身を食べるのが主流。そ
こで、今回の出展では、脂身のおいしさをより理解して
もらうために、バラ肉とロースを使い、豚肉本来の味が
分かるようなしゃぶしゃぶをデモンストレーションし
た。

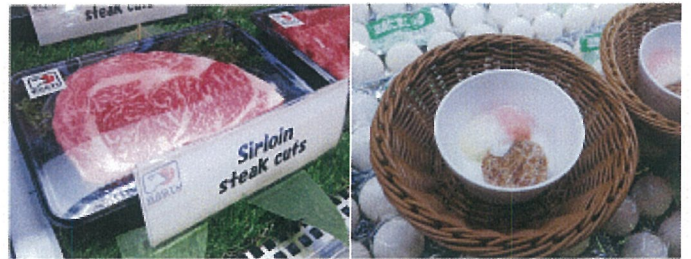
外国産との差別化

日本の 14 年の牛肉輸出額は 82 億円で、国・地域別で
は香港が全体の 24.8%を占めトップとなった。ただ、香
港では既に「和牛」は広く知られているものの、米国や
オーストラリアで飼育された和牛遺伝子を持った「外国
産」和牛も出回っている。今後市場をさらに広げていく

ためには、「日本産を打ち出したブランディングが必要」
との見方が強まっている。

国産牛肉のブースを開設したミートコンパニオン（東
京都立川市）の植村光一郎常務取締役は、米国やオース
トラリアはマークを活用し、国を挙げた海外でのブラン
ド確立をうまく行っていると分析する。店頭に並ぶ商品
にマークを貼ることで、消費者に効果的なアピールがで
きているとみる。

日本産を示すマークは 5 年ほど前に作られた。和牛の
遺伝子を持つほか、和牛認定の要素となる飼料の配合と
飼養管理が徹底された日本産の和牛に貼られるように
なっている。



日本産和牛に張られた統一マーク。鶏卵のブースでは温泉卵を紹介した
＝24日、HKCEC（NNA撮影）

これまで生産農家や企業は県名を使って海外でアピ
ールしてきたが、菱沼理事長は、「県名の表示では世界
で通じないことが多い。まずは日本産であることを知ら
せることが先決」と統一マークの意義を強調。同様のマ
ークは鶏卵や豚肉でも作成されている。ただ認知度はま
だ足りないとして、引き続きメディアを通じた広報で広
めていく方針だ。

植村常務も「マークが付いているモノはおいしいと認
識されれば、次回以降はマークを目印に買ってもらえ
る」と述べ、マークの定着を図っていく考えを示した。

毎年開かれる香港フードフェスティバルは香港亞洲
展覽（集団）の主催で、今年で 13 回目を迎える。きよ
う 28 日まで湾仔の香港コンベンション&エキシビショ
ンセンター（HKCEC）で開かれている。来場者は 130
万人に上る見通しだ。

PHOTO NEWS



ユネスコ世界遺産「マカオ歴史地
区」にあるセナド広場もクリスマ
スの装い＝24日、マカオ（新華
社）

TAKE OFF

クリスマスは熊本の温泉で
過ごしたかった。ある香
港人女性が悔しげに語る。訪
日旅行人気で、航空券が 50
00 HKドル（約 8 万円）を
超えており、「米国まで行ける
価格」には、さすがに断念し
たそうだ。

日本の魅力は円安による物
価の安さだという。医薬品、
化粧品、衣類に食料と、「何も
かもが安い」らしい。「ミシュ
ランの星を獲得しているレス
トランのフルコースで 1 万円
激安でしょ」と言われてもピ
ンとこないが、香港の高級レ
ストランの価格をみるに、確
かに納得だ。

毎週でも行きたい、と言わ
しめる訪日旅行人気。中国人
の「爆買い」のようなインパ
クトはないが、香港人の訪日
旅行の勢いも衰えておらず、
今年は延べ 150 万人に迫
る勢いだ。「春節（旧正月）は
白川郷に行く」と次の予定も
バッチリ。いずれ日本のこと
は香港人に教わるようになり
そうだ。（雨）